

昭和32年の諫早大水害以降も、 大きな洪水が発生しています！

■昭和32年以降の主な水害

発生 年月日	発生 原因	水文状況		被害状況
		実績流量 (裏山)	日雨量 (裏山上流域)	
昭和32年 7月25日 (諫早大水害)	梅雨前線	約1,070m ³ /s (推定値)	約620mm	死者：464名、行方不明者：45名 (死者・行方不明者：630名 [※]) 負傷者：1,476名 家屋全壊・流出：727戸、家屋半壊：575戸 床上浸水：2,734戸、床下浸水：675戸
昭和37年 7月7日	梅雨前線	約730m ³ /s	約250mm	負傷者：14名 家屋全壊：60戸、家屋半壊：25戸 床上浸水：2,262戸、床下浸水：8,058戸
昭和57年 7月22～24日 (長崎大水害)	梅雨前線	約690m ³ /s	約470mm	床上浸水(外水)：118戸 床上浸水(内水)：494戸 床下浸水(外水)：168戸 床下浸水(内水)：713戸
平成11年 7月23日	熱帯 低気圧	約720m ³ /s	約290mm	床上浸水(内水)：397戸 床下浸水(内水)：227戸
平成23年 8月23日	前線	約700m ³ /s	約200mm	床上浸水(内水)：5戸 [※] 床下浸水(内水)：24戸 [※]

※市町村合併後の諫早市の被害状況